



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年7月29日

上場会社名 GMO TECH株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6026 URL https://gmotech.jp/
 代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 鈴木 明人
 問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 染谷 康弘（TEL）03(5489)6370
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成27年12月期第2四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----------------|---|----------------------------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第2四半期 | 1,860 | — | 238 | — | 237 | — | 145 | — |
| 26年12月期第2四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |
| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 27年12月期第2四半期 | 131.85 | | 130.62 | | | | | |
| 26年12月期第2四半期 | — | | — | | | | | |

（注）当社は、四半期の業績開示を平成26年12月期第3四半期より行っているため、平成26年12月期第2四半期の実績及び増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|--------------|-------|-----|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年12月期第2四半期 | 1,444 | 939 | 65.0 |
| 26年12月期 | 1,415 | 851 | 60.1 |

（参考）自己資本 27年12月期第2四半期 939百万円 26年12月期 851百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 52.00 | 52.00 |
| 27年12月期 | 0.00 | 0.00 | | | |
| 27年12月期(予想) | | | 0.00 | 62.00 | 62.00 |

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|-----|------|------|------|------|-------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,300 | 8.9 | 340 | 20.7 | 340 | 30.2 | 204 | 29.4 | 185.45 |

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

| | | | |
|-------------|------------|-------------|------------|
| 27年12月期 2 Q | 1,100,000株 | 26年12月期 | 1,100,000株 |
| 27年12月期 2 Q | —株 | 26年12月期 | —株 |
| 27年12月期 2 Q | 1,100,000株 | 26年12月期 2 Q | —株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業務見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。当社は、平成27年7月29日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開始する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 4 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 4 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 4 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 4. 四半期財務諸表 | 5 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済・金融政策を背景に為替相場の円安基調から株価の上昇が進み、企業業績が改善し、設備投資が増加するなど、景況全般に関し緩やかな回復傾向が見られました。

一方、海外におきましては、ギリシャの財政危機が、欧州を中心とした経済全体の景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状態で推移いたしました。

当社の事業領域であるインターネット分野におきましては、主にスマートフォンの普及によりインターネットの利用シーンは増加し、例えば実店舗における購買時の検索、クーポン利用など、インターネットと実店舗がシームレスに繋がる機会が増えるなど、インターネット広告の市場規模は堅調に拡大しております。

また、020(※1)やオムニチャネル(※2)といった動きに加え、ウェアラブルデバイス(※3)などのデバイスの進化やIoT(※4)などの潮流により、今後もインターネット及びインターネットにおける集客の重要性は、益々高まるものと考えております。

※1 020とは、Online to Offline(オンライン・トゥー・オフライン)の略で、オンライン(インターネット)とオフライン(実店舗)の購買活動が連携し合う、またはオンラインの活動を実店舗などでの購買を促進する効果に結び付ける施策を指します。

※2 オムニチャネルとは実店舗やオンラインストアをはじめとするあらゆる販売チャネルを統合する施策を指します。

※3 ウェアラブルデバイスとは、腕や頭部など、身体に装着して利用することが想定された端末(デバイス)を指します。

※4 IoTとは、Internet of Things(インターネット・オブ・シングス)の略で、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々なモノに通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信する技術や仕組みを指します。

このような環境のもと、当第2四半期累計期間における当社は、主力事業であるスマートフォンアフィリエイトASP事業を中心に、スマートフォンユーザーへのネットワークを拡大しリーチを増やす事で、積極的に事業の拡大を図ってまいりました。

以上により、当第2四半期累計期間における業績は、売上高1,860,574千円、営業利益238,391千円、経常利益237,807千円、四半期純利益は145,038千円となりました。

セグメント別の営業概況は次のとおりであります。

スマートフォンアフィリエイトASP事業は、スマートフォンアプリのプラットフォームであるAppleが提供するAppStore及びGoogleが提供するGoogle Playに有効なリワード広告である「GMO SmaADリワード」やアクティブユーザーの獲得に有効な広告ネットワークである「GMO SmaADアドネットワーク」が好調に推移したことなどにより、売上・利益とも伸長いたしました。

この結果、スマートフォンアフィリエイトASP事業の経営成績につきましては、売上高は1,339,918千円、営業利益は176,691千円となりました。

PC・モバイル集客支援事業は、Facebookのユーザー向け広告であるFacebook広告などのソーシャル広告及び集客メディアの運営などが堅調に推移いたしました。

この結果、PC・モバイル集客支援事業の経営成績につきましては、売上高は497,764千円、営業利益は134,077千円となりました。

スマートフォンアプリCMS ASP事業は、販売代理店など販路の拡大に努めるとともに、認知度を高めるためのイベント出展やチェーン店舗向けへの営業を推進し、サービス追加等の機能強化に努めました。

この結果、スマートフォンアプリCMS ASP事業の経営成績につきましては、売上高は22,892千円、営業損失は72,378千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期累計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比べ29,066千円増加し、1,444,754千円となりました。主な変動要因は、売掛金が67,040千円減少(13.1%減)したこと、投資有価証券が30,934千円増加したこと、現金及び預金が62,920千円増加(7.6%増)したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期累計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ58,772千円減少し、505,627千円となりました。主な変動要因は、買掛金が86,285千円減少(28.6%減)したこと、未払法人税等が13,808千円増加(18.0%増)したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ87,839千円増加し、939,127千円となりました。主な変動要因は、四半期純利益145,038千円を計上したこと、配当金として57,002千円の支払いを行ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月5日付の「平成26年12月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 830,474 | 893,394 |
| 売掛金 | 512,165 | 445,125 |
| その他 | 41,881 | 41,206 |
| 貸倒引当金 | △8,455 | △5,561 |
| 流動資産合計 | 1,376,066 | 1,374,164 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,246 | 4,172 |
| 無形固定資産 | 9,577 | 10,441 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | — | 30,934 |
| その他 | 25,798 | 25,042 |
| 投資その他の資産合計 | 25,798 | 55,976 |
| 固定資産合計 | 39,622 | 70,589 |
| 資産合計 | 1,415,688 | 1,444,754 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 302,035 | 215,750 |
| 未払金 | 116,053 | 108,617 |
| 未払法人税等 | 76,790 | 90,598 |
| 賞与引当金 | — | 6,400 |
| その他 | 68,761 | 83,495 |
| 流動負債合計 | 563,641 | 504,862 |
| 固定負債 | | |
| 資産除去債務 | 758 | 764 |
| 固定負債合計 | 758 | 764 |
| 負債合計 | 564,399 | 505,627 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 276,800 | 276,800 |
| 資本剰余金 | 266,800 | 266,800 |
| 利益剰余金 | 307,688 | 395,527 |
| 株主資本合計 | 851,288 | 939,127 |
| 純資産合計 | 851,288 | 939,127 |
| 負債純資産合計 | 1,415,688 | 1,444,754 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日) |
|--------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 1,860,574 |
| 売上原価 | 1,291,529 |
| 売上総利益 | 569,045 |
| 販売費及び一般管理費 | |
| 給料手当 | 74,687 |
| 貸倒引当金繰入額 | △2,893 |
| 賞与引当金繰入額 | 2,208 |
| その他 | 256,651 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 330,653 |
| 営業利益 | 238,391 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 42 |
| その他 | 71 |
| 営業外収益合計 | 113 |
| 営業外費用 | |
| 為替差損 | 697 |
| 営業外費用合計 | 697 |
| 経常利益 | 237,807 |
| 税引前四半期純利益 | 237,807 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 87,798 |
| 法人税等調整額 | 4,969 |
| 法人税等合計 | 92,768 |
| 四半期純利益 | 145,038 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 当第2四半期累計期間 (自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日) |
|--------------------------|---------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | |
| 税引前四半期純利益 | 237,807 |
| 減価償却費 | 3,433 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △2,893 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 6,400 |
| 受取利息 | △42 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 67,054 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | △2,908 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △86,570 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 11,963 |
| 未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少) | △1,539 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 4,772 |
| 小計 | 237,477 |
| 利息及び配当金の受取額 | 42 |
| 法人税等の支払額 | △72,452 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 165,067 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △961 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,888 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △30,934 |
| 敷金の差入による支出 | △140 |
| その他 | △505 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △39,429 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | |
| 配当金の支払額 | △57,002 |
| その他 | △5,714 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △62,717 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | — |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 62,920 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 830,474 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 893,394 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第2四半期累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | |
|-----------------------|-----------------------------|-------------------|----------------------------|-----------|
| | スマートフォン アフィリエイト ASP事業 | PC・モバイル 集客支援事業 | スマートフォン アプリCMS ASP事業 | 計 |
| 売上高 | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 1,339,918 | 497,764 | 22,892 | 1,860,574 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | — | — | — |
| 計 | 1,339,918 | 497,764 | 22,892 | 1,860,574 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 176,691 | 134,077 | △72,378 | 238,391 |
| その他の項目 | | | | |
| 減価償却費 | 1,016 | 1,591 | 824 | 3,433 |

(注) 1. セグメント利益の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. セグメント利益には適当な配分基準によって、各報告セグメントに配分された全社費用を含んでおります。

3. セグメント資産及び負債については、取締役会に対して定期的に提供されておらず、経営資源の配分決定及び業績評価の検討対象となっていないため記載しておりません。

4. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。